

ころんぶすりハビリ新聞

リハビリ
阿部太哉

「やりたい！」をリハビリにする

ころんぶすり理学療法士の阿部です。僕は、子育て真っ最中です。僕の役割は遊び相手です。子供と遊ぶのって大変ですし、理解できないことだらけです。子どもと遊んでいると、なんでこんな遊びが面白いの？なんて思わずらばっかりするの？などなど、僕たちが、理解できないことがたくさん起こります。

うちの子供たちは、水を使った遊びが大好きです。プールや水遊びなど、とても楽しく遊んでいます。その程度で済めば僕たちも笑っていられます。ですが、知らない間に外に出ては、水道の所まで行き蛇口をひねり、びちゃびちゃになるまで水ごねをしていたり、近所の家の池に行っていたり、笑っていられなく

なる状況が多々あります。この間、とある本と出会いました。その本の中の一節にあったのが、「子どもにとつていたずらは、成長過程の一つです。」と書かれていました。いたずらは、大人になるための、リハビリということなんです。僕の職業病で、いたずらもリハビリの一つ。と言われると、「それならしょうがないか。」と納得してしまいます(笑)。それと同時に、なぜ、子どもは、いたずら(リハビリ)を続けるのか？と分析したくなります。僕なりにその分析した結果、分かったのが、「楽しいから」です。普通じゃん(笑)！と言われそうですが、僕たちも、いたずらした時はただただ楽しかったです。でも、その楽しさは、大人になっ

時に役に立つことが多いと思います。あの時、いたずらばかりしていたけど、それが、役に立つこととつて結構ありますよね？おそらく、人間って興味が湧いて、失敗して、そして学習していくんだと思います。そう考えると、興味が湧いたり、やりたい！と思うことは、その人にとつて大変重要なことなんだと思います。

この間、ころんぶすり、僕の趣味のグラス彫刻をやっています。たまたま、誕生日



の方がいたので、プレゼント用に作品を作っていたのですが、その時に、利用者さんから、「これやってみたい！」と言われました。「やりたい！」は成長のきっかけ！これはリハビリのチャンスだと思

話されていました。ガラス彫刻をやってみると分かるのですが、根気のいる作業です。それを、最後までやり切れたことは、素晴らしいことだと思います。それに、10分でも15分でも1日の中で集中した時間ができたことはとても良かったのではないかな。と思います。「やりたい！」という想いに沿ってお手伝いをするので、新しい刺激と出会い、達成感も味わうことができました。

この間、ころんぶすり、僕の趣味のグラス彫刻をやっています。たまたま、誕生日

次は、木に文字を彫って、誰かにプレゼントできればいいなあと考え中です。また、出来上がりましたら、ご紹介いたします。みなさんも、「やりたい！」と思つたことは、子どもの頃の気持ちに戻って、是非、やってみましょう！何か、今までとは違う学びがあつて、成長できるチャンスかもしれない。阿部

ご本人に、作品を作ってみてどうですか？とお聞きすると、「めんどくさかった、大変だった！」と僕が期待していた感想とは違いました(笑)。でも、なぜ、最後まで出来たんですか？と聞くと、「道具も買ったし、やってみようと思つて。」と

話されていました。ガラス彫刻をやってみると分かるのですが、根気のいる作業です。それを、最後までやり切れたことは、素晴らしいことだと思います。それに、10分でも15分でも1日の中で集中した時間ができたことはとても良かったのではないかな。と思います。「やりたい！」という想いに沿ってお手伝いをするので、新しい刺激と出会い、達成感も味わうことができました。